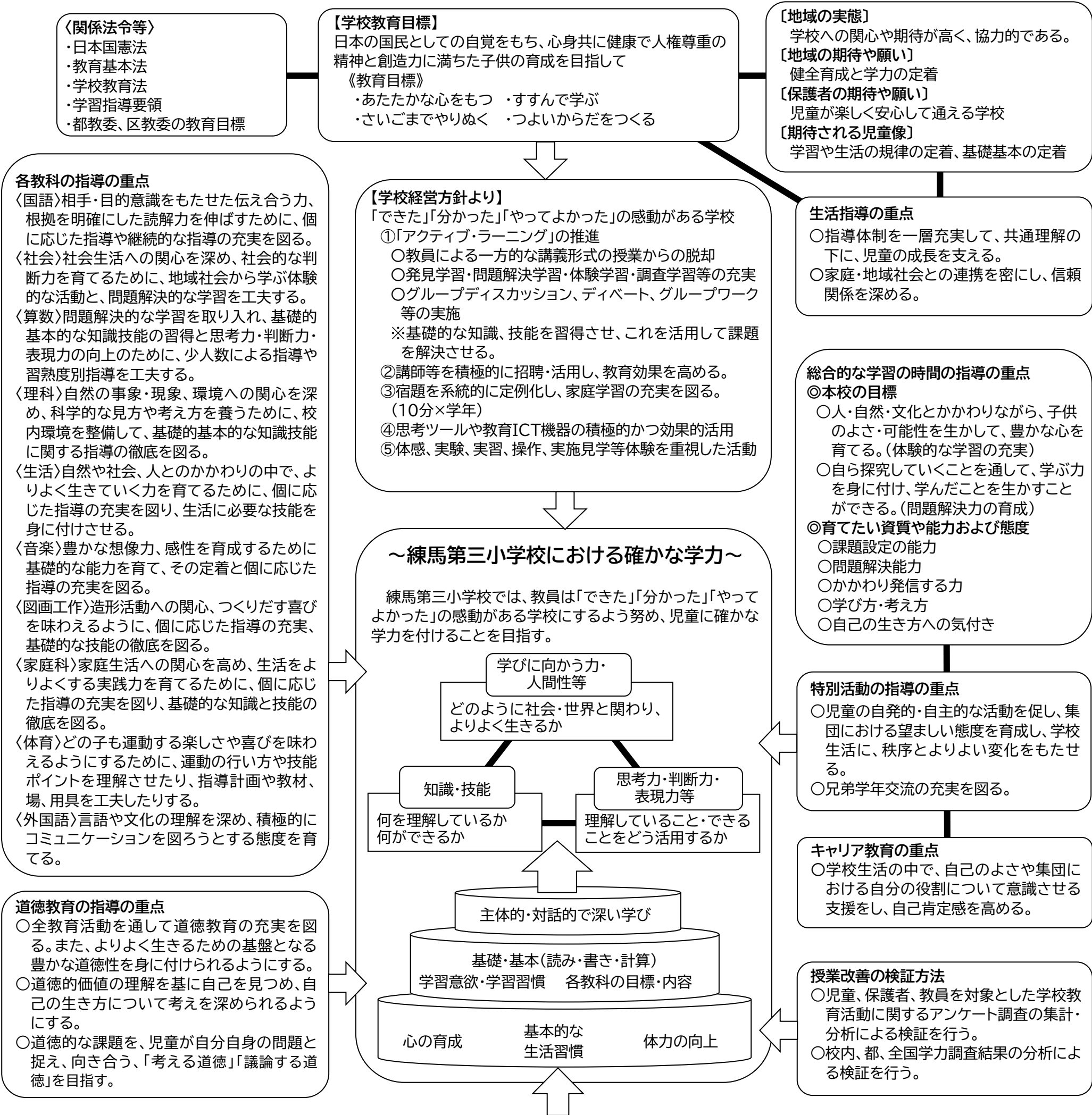


練馬区立練馬第三小学校学力向上に関するプラン全体計画



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫・教育環境	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点に立った工夫
○1時間ごとの指導の充実と指導計画の工夫をして教材研究をする。 ○学習意欲を高める指導の工夫を図る。 ○体験的・問題解決的な学習を重視する。 ○少人数による習熟度別指導の工夫をする。 ○指導計画内に学校図書館を活用した学習を取り入れる。 ○発問を精選する。 ○ノート指導の充実を図る。	○個に応じた指導を行うために少人数による習熟度別指導やTT指導の充実を図る。 ○教材室の整備と活用を図る。	○教師の指導力を高める研究を推進する。 ○学習指導力の向上、教員の資質の向上を図る。PDCAのサイクルで学習課題や教材を工夫し教材研究を行う。 ○「どの子ども学習を楽しめる指導の工夫」を主題として、校内研究を行う。 ○つまづきのある児童が楽しんで最後までとりくめるように指導の工夫を図る。 ○研究授業を実施する。	○関心意欲を高め、生涯にわたり学習する姿勢を学ぶための自己評価の工夫をする。 ○個別目標を設定し、学期ごとに評価する。 ○児童による自己の振り返りと教師の授業評価を実施し、活用する。 ○評価規準を作成する。	○学校公開を実施する。 ○学校生活(学習・生活等)の児童の様子や変容を保護者会や学校・学年便り、ホームページを通して多面的に伝える。 ○道徳授業地区公開講座を実施する。 ○学校地域連携事業による人材を活用する。 ○保護者・地域、学校評議員による外部評価を実施し、教育課程編成へ活用する。 ○図書館、美術館等の公共施設や商店街を活用する。	○校区別協議会において情報交換したり、課題改善カリキュラム等を検討したりして、指導の中に組み込む。 ○小学校から中学校への学習の連続性が保たれるよう、各教科における基礎基本の徹底を図る指導を行う。 ○中学校との相互授業公開や中学校生活紹介会などが実現できるよう、コーディネーターを中心に連絡調整をしていく。